

STAR

ピックアップアタッチメント

取扱説明書・部品表

製品コード

K38183

型式

APU4000

部品供給型式

APU4000-02

部品ご注文の際は、ネームプレートをお確かめの上、
部品供給型式を必ずご連絡下さい。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社





安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

▲ 危険

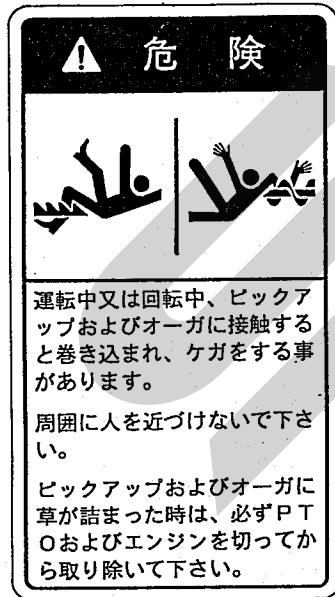
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

▲ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

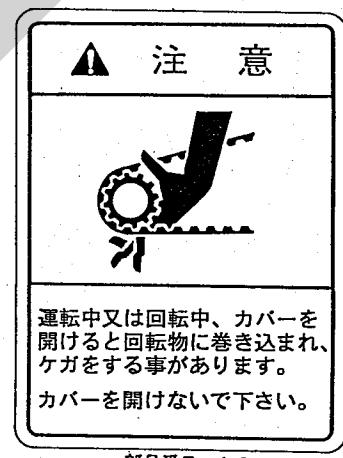
▲ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。



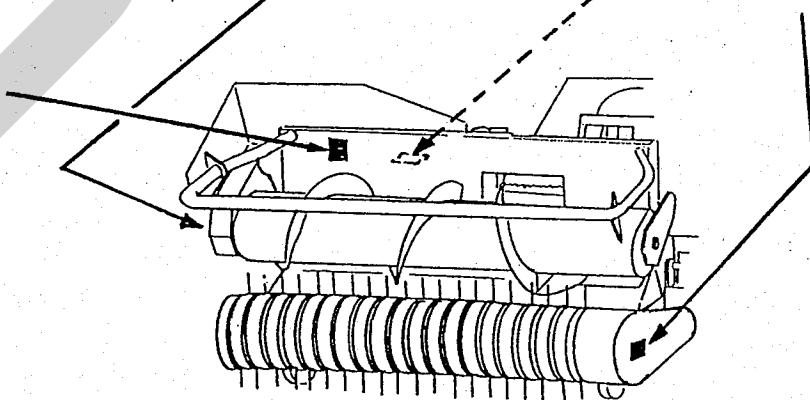
運転中又は回転中、ピックアップおよびオーガに接触すると巻き込まれ、ケガをすることがあります。
周囲に人を近づけないで下さい。
ピックアップおよびオーガに草が詰まった時は、必ずPTOおよびエンジンを切ってから取り除いて下さい。

部品番号 106481



運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをすることがあります。
カバーを開けないで下さい。

部品番号 106171



— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてから行ってください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処し、トラブルやケガをする事があります。
取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項・取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。
次の場合は、運転しないでください。
 - 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
 - 酒を飲んだ時。
 - 機械操作が未熟な人。
 - 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。
次に示す服装で作業してください。
 - 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。

- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- ヘルメットを着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は、

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。

取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

機械の改造はしないでください。

アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。

部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検をする時は

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。
作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

▲警告

- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行うと、緊急事態の対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。
運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。

- エンジンを始動する時、主変速レバーを「N」(中立)にして行わないと、変速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。
主変速レバーを「N」(中立)にして行ってください。

- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。
PTOを切ってから始動してください。

- エンジンを始動する時、作業機を下限まで降ろして行わないと、不意に降下または上昇して、周囲にいる人がケガをする事があります。
- 作業機を下限まで降ろして行ってください。
- 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。
- 周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。

作業機を着脱する時は

▲警告

- トラクタの3点リンクに本機を着脱するためにトラクタを移動させる時トラクタと本機の間に人がいると、挟まれてケガをする事があります。

トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

▲注意

- 本機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。

平坦で地盤のかたい所で行ってください。

- ハーベスター本体にアタッチメントを取り付ける時、衝突させると本体がバランスを崩し、後方に転倒しケガをすることがあります。

トラクタに本体を連結してからアタッチメントを取り付けてください。

- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となり、思わぬ事故をまねく事があります。

トラクタヘバンパーーウエイトを取り付け、バランスを取ってください。

- バッテリからバッテリケーブルを外すときは（-）側から外し、取り付けるときは（+）側から行なってください。

もし、逆にすると作業中工具がトラクタに接触し火花が生じ、火災事故の原因になります。

パワージョイントを使用する時は

▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。

- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。

損傷したらすぐに取り替えてください。

使用前には、損傷がないか点検してください。

- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。PTOを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。

トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。

最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。

適正な重なり量で使用してください。

- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていると、使用中に外れ、ケガをする事があります。

溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

公道走行時は作業機の装着禁止

▲注意

- トラクタに作業機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。

トラクタに作業機を装着しての走行はしないでください。

移動走行する時は

▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。

ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。

トラクタには、運転者以外の人は乗せないでください。

作業中は

作業する時は

▲危険

- 運転中又は回転中、搬送チェーンおよび供給ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。

周囲に人を近づけないでください。

手供給する時は、搬送チェーンの動力を遮断してから行ってください。

- 運転中又は回転中、ピックアップおよびオーガに接触すると巻き込まれケガをする事があります。

周囲に人を近づけないで下さい。

ピックアップおよびオーガに草が詰まった時は、PTOおよびエンジンを切ってから取り除いてください。

▲警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。

特に、子供は近づけないようにしてください。

- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。

指定回転速度を守ってください。

- ロークロップ部あるいは本機に長穀作物が詰まった時、手や足で押し込むと巻き込まれ、ケガをすることがあります。

手足での押し込みはやめてください。

詰まりの除去を行う時は、PTO及びエンジンを切ってから行ってください。

- コーン引き起こし装置を装着した状態で手供給すると巻き込まれケガをすることがあります。

危険ですのでやめてください。

- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。

また、物を載せて作業すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。作業機の上には、人や物などはのせないでください。

- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。

低速で作業してください。

下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。

坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。

- 高速運転・急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んでいたり、思わぬ事故を起こす事があります。高速運転・急制動・急旋回はしないでください。

- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。

低速走行してください。

- 旋回する時、作業機が旋回方向とは逆方向にふくれるため、周囲の人々に接触しケガをさせたり、対向物・障害物に衝突しケガをする事があります。

周囲の人や対向物・障害物との間に十分な間隔を保って行ってください。

- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こすことがあります。

路肩は走行しないでください。

- 高低差が大きい段差を乗り越えようとするとき、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。

あゆみ板を使用してください。

- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。

また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。作業機の上には、人や物などはのせないでください。

- 作業機を折りたたまざつに移動走行すると、障害物などにぶつかりケガをする事があります。

折りたたんで、移動させてください。

▲注意

- 本機はトレッドが狭いため旋回時、凹凸地・傾斜地の走行時転倒してケガをする事があります。

低速走行してください。

- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。

移動走行する時は、PTOを切ってください。

- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。
- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。しっかりとハンドルを握って運転してください。

▲注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確めて行ってください。

本機から離れる時は

▲警告

- 本機から離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。
- 本機から離れる時、作業機をあげたままにしておくと、第三者の不注意により不意に降下し、ケガをする事があります。
下限まで降ろしてから本機を離れてください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検をする時は

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- 3点リンクで本機を持ち上げて点検・調整

を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。
トラクタ3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲警告

- ナイフを研磨する時、ナイフに接触するとケガをする事があります。
ナイフの研磨手順に従って行ってください。

▲注意

- ナイフを調整する時、不意にフライホイールが回転し、取り付けられたナイフでケガをすることがあります。
フライホイールの回り止めを確実に行い、作業してください。

- ナイフを研磨する時、目に飛散物が入りケガをすることがあります。

保護メガネを着用してください。

- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づいてください。

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。

平坦で地盤のかたい所で行ってください。

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

- 作業機をあげた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります

下に入る時は、台などで落下防止をして行ってください。

- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。
補修もしくは部品交換してください。

継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。

- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。

元通りに取り付けてください。

もくじ

A

安全に作業するために

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	5
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	5
作業中は	4		

1

本体への装着

1 各部の名称とはたらき	8	3 本体への装着	9
2 組立部品	9		
1. 解 梱	9		
2. 組立部品の明細	9		
3. 組 立	9		

2

運転を始める前の点検

1 運転前の点検	9	3 給油箇所一覧表	10
2 エンジン始動での点検	9		

3

作業の仕方

1 本製品の使用目的	10	3 各部の調整	11
2 作業要領	10	1. オーガスプリングの調整	11
		2. スリップクラッチの調整	11
		3. オガテンションの調整	11

4

作業が終わったら

1 作業後の手入れ	12	2 長期格納するとき	12
-----------	----	------------	----

5

点検と整備について

1 点 檢 整 備 一 覧 表 1 3

6

不調時の対応 1 4

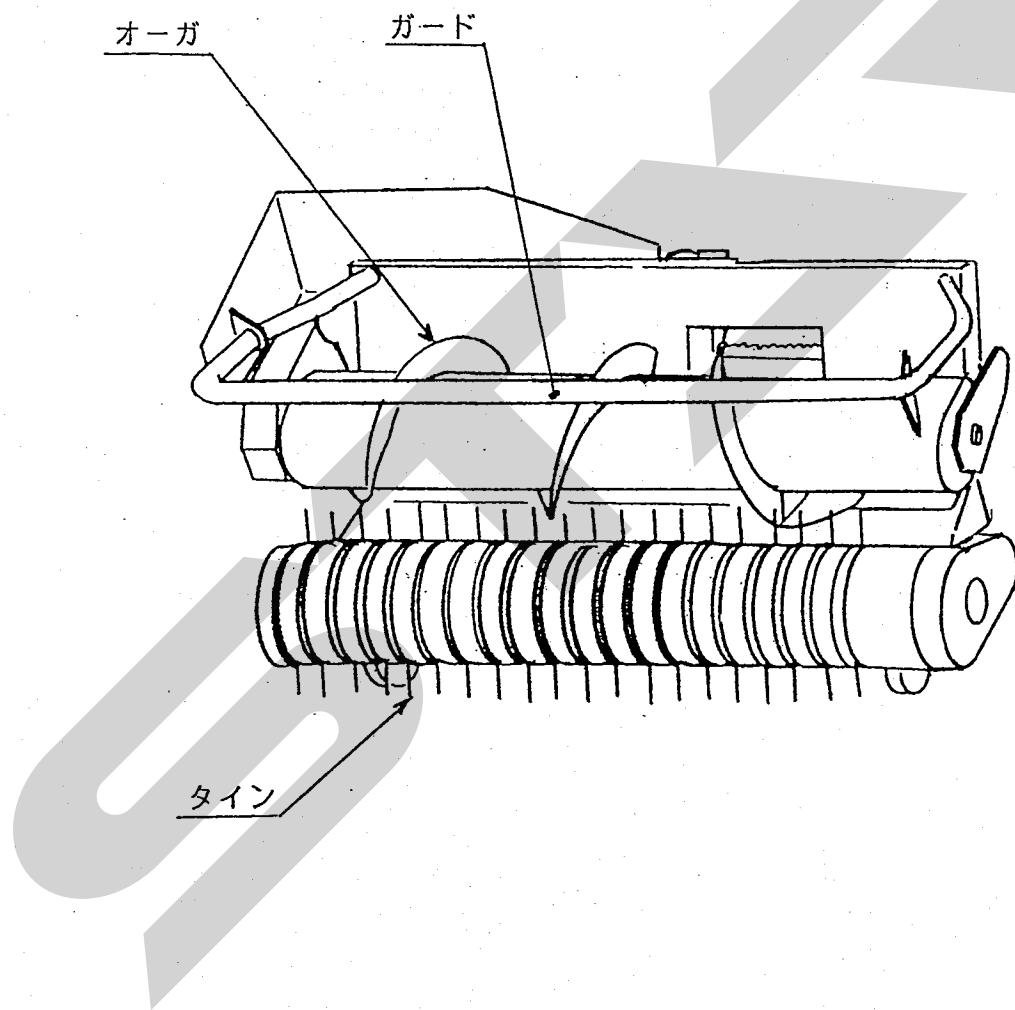
7

部 品 表 1 5

1 本体への装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



2 組立部品

1. 解 梱

木枠に固定している部品をほどいてください。

2. 組立部品の明細

梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

3. 組 立

各部品の組立に必要なボルト、ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

3 本体への装着

1. 本体への装着

▲ 注意

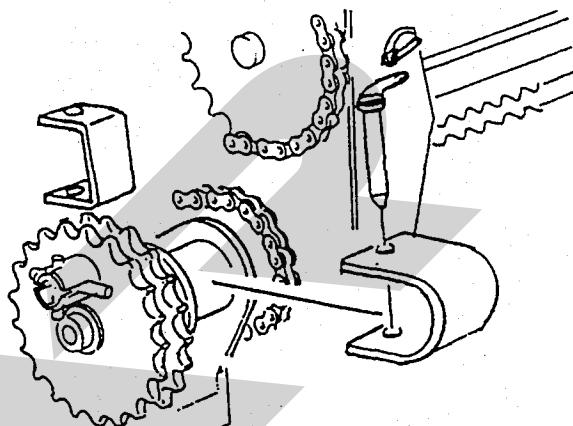
- ハーベスタ本体にアタッチメントを取り付ける時衝突させると本体がバランスを崩し後方に転倒しがをすることがあります
トラクタに本体を連結してからアタッチメントを取り付けてください。

- (1) ハーベスタ本体の高さを調整してください。
(高さ調整は本体の左右タイヤで行ないます)

- (2) ピックアップアタッチメントの取付け部を本体側の受けにはめ込みブラケットを入れピンを差込みデルタピンで固定します。

- (3) スプロケットにチェーンを掛け、テンションを張ります。

- (4) 最後にカバーを取付けてください。



2 運転を始める前の点検

本体の取扱説明書を良く読み、機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

異常な部品は無いか、給油は充分にされているか。

本体との連結は確実に行なわれているか。

2 エンジン始動での点検

1. トラクタ油圧系統に異常はないか。
トラクタの外部油圧を操作し、本アタッチメントの上下が確実に行えるか。

持ち上げた状態を維持出来れば異常はありません。

2. 異常音は無いか
無負荷運転での異常音は無いか。
トラクタのエンジン回転を徐々に上げながら確認してください。

取扱上の注意

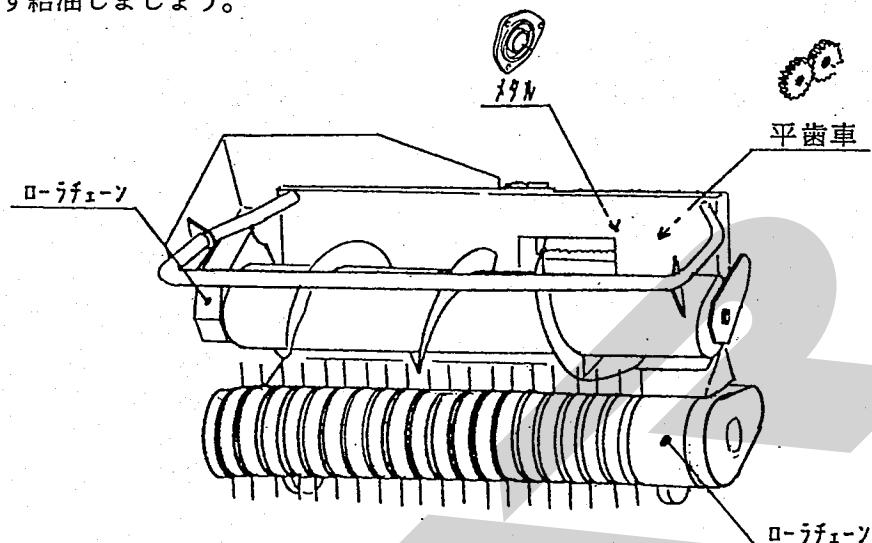
トラクタ油圧系統などに異常がある時は、
トラクタ販売店にご相談ください。

3 給油箇所一覧表

○給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。

○グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。

毎日の作業前にかならず給油しましょう。



No.	給油場所	個所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	平歯車	1	グリース	使用ごと	適量	グリース塗布
2	ローラーチェーン	3	オイル	"	"	オイル塗布
3	メタル	6	グリース	"	"	グリースニップル

3 作業の仕方

安全を確認して慎重に作業してください。

1 本機の使用目的

牧草の飼料調整に使用します。これ以外の目的には使わないでください

2 作業要領

効率の良い作業を行なうためにウィンドロー(集草列)は、均一で少な目に作ってください。ウィンドロー幅は60~80cm程が目安です。

また本機がは場内をスムーズに作業できるよう作業効率のよいウィンドローの作り方を工夫しましょう。

▲危険

- 運転中又は回転中、ピックアップおよびオーガに接触すると巻き込まれケガをする事があります。

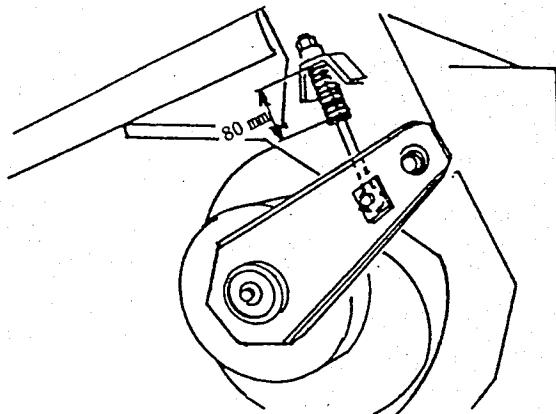
周囲に人を近づけないでください。

ピックアップおよびオーガに草が詰まった時は、P T Oおよびエンジンを切ってから取り除いてください。

3 各部の調整（快適な作業のために）

1. オーガスプリングの調整

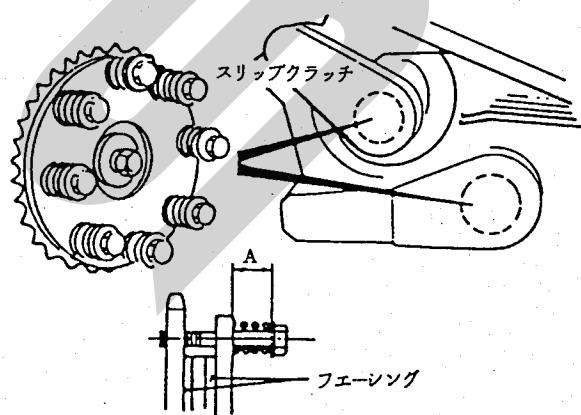
オーガをピックアップされた牧草に押しつけて、横送りを助ける働きをします。スプリングの標準長さは80mmです。



2. スリップクラッチの調整

オーガ部及びピックアップ部には、過負荷時の安全装置としてスリップクラッチが装備されています。

スプリングの標準長さは、A寸法でピックアップ部は27mm、オーガ部はボルトを締めて密着してから半回転戻してください。



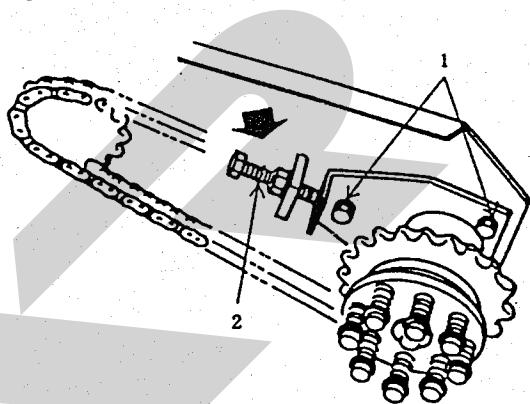
スリップクラッチ部には、ワンウェイクラッチが装備されており、ロール、オーガ部を逆転させた時、タインによるロータフラッシュの突き上げや、草の引き込みなどのトラブルを、未然に防止します。

取扱上の注意

フェーシング部分には給油しないでください。スリップして作業ができなくなります。

3. オーガテンションの調整

オーガ軸受のボルト①をゆるめ押しボルト②で調整します。テンション量がいっぱいになった時は元の位置に戻し、チェーンのオフセッティング（半コマ）を一個外してください。



4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部、可動部に付着したゴミ、草などの除去作業を行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。 PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に従って、油脂を補給してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に従い、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

1 点検整備一覧表

▲ 注意

- PTOおよびエンジンとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けず作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

時 間	チ ケ ッ ク 項 目	処 置
新 品 使用 1 時 間	全ボルト、ナットの緩み	増し締め
使 用 每 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②部品脱落・破損部 ③各部のボルト・ナットの緩み ④各部の油脂類 ⑤オーガスプリング ⑥スリップクラッチ ⑦オーガテンション	補充、交換 増し締め 給油項目に従って給油、給脂 —— 異常あれば再調整
シ ー ズ ン 終 了 後	①各部の破損、摩耗 ②各部の清掃 ③各部の給油、給脂 ④チェーン、回動支点等の摩耗 ⑤塗装損傷部	早めの部品交換 給油項目に従って給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布

6 不調時の対応

エンジンをとめてから点検してください。

トラブルが発生したら、「不調処置一覧表」に従い処置してください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
ピックアップがスリップして牧草が拾えない	①フェーシングが摩耗 ②供給量が多い ③スプリング緩んでいる	フェーシングを交換する。 車速を下げる スプリングを適正值に調整する
オーガがスリップする	①フェーシングが摩耗 ②供給量が多い ③スプリング緩んでいる	フェーシングを交換する。 車速を下げる スプリングを適正值に調整する
オーガに巻き付く	①オーガとスクレーパの隙間が多い	隙間を調整する

原因や処置のしかたがわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

7 部 品 表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ①製品名
- ②部品供給型式（型式）
- ③部品名称（部品表を参照してください。）
- ④部品番号（部品表を参照してください。）
- ⑤個数（部品表を参照してください。）

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に
貼付のネームプレートに表示しています。

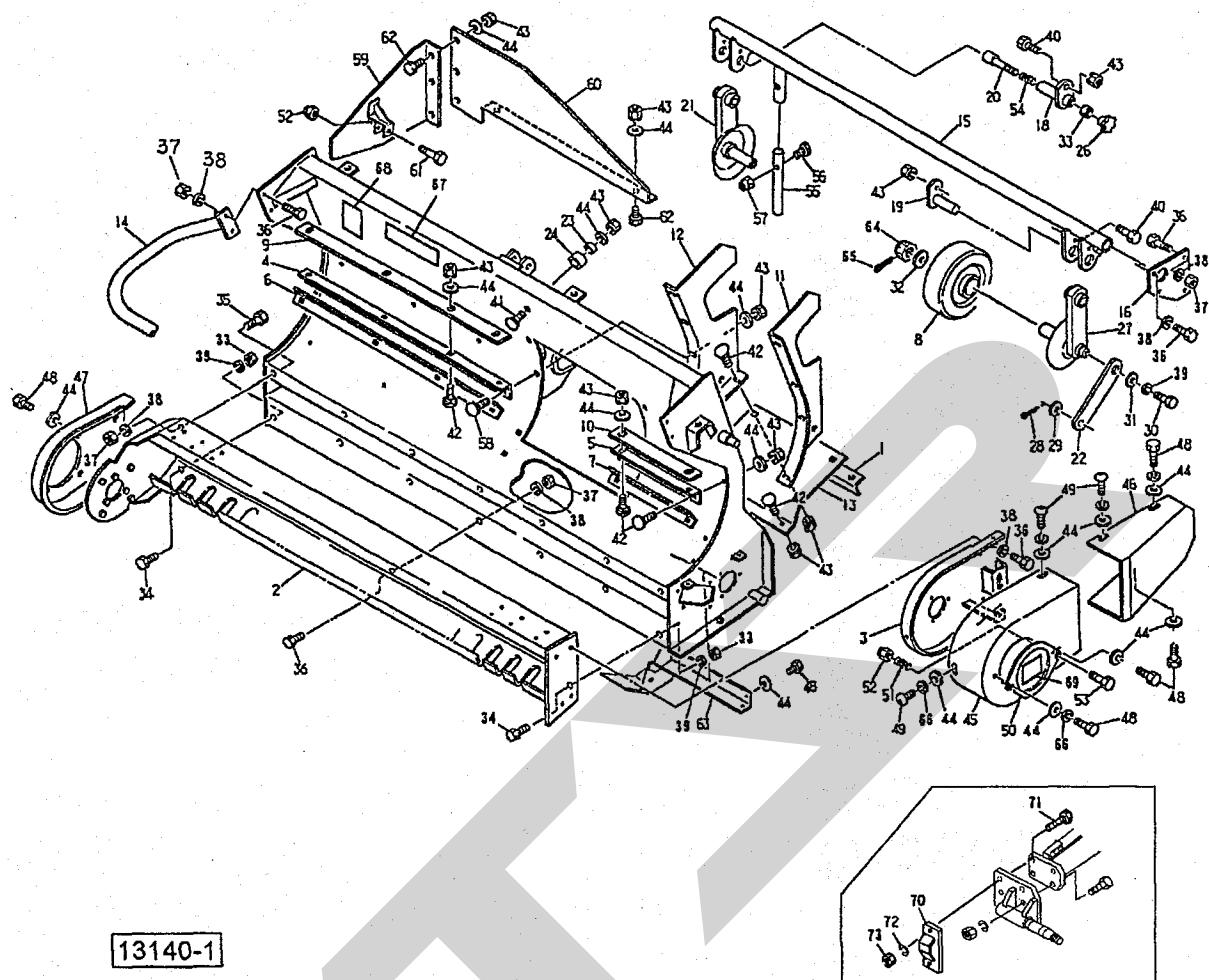
2. 個数欄の 、は、以下のことを表しております。

- … シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品
- … アッセイ品に含まれる部品で単品では供給しない部品

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、
製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

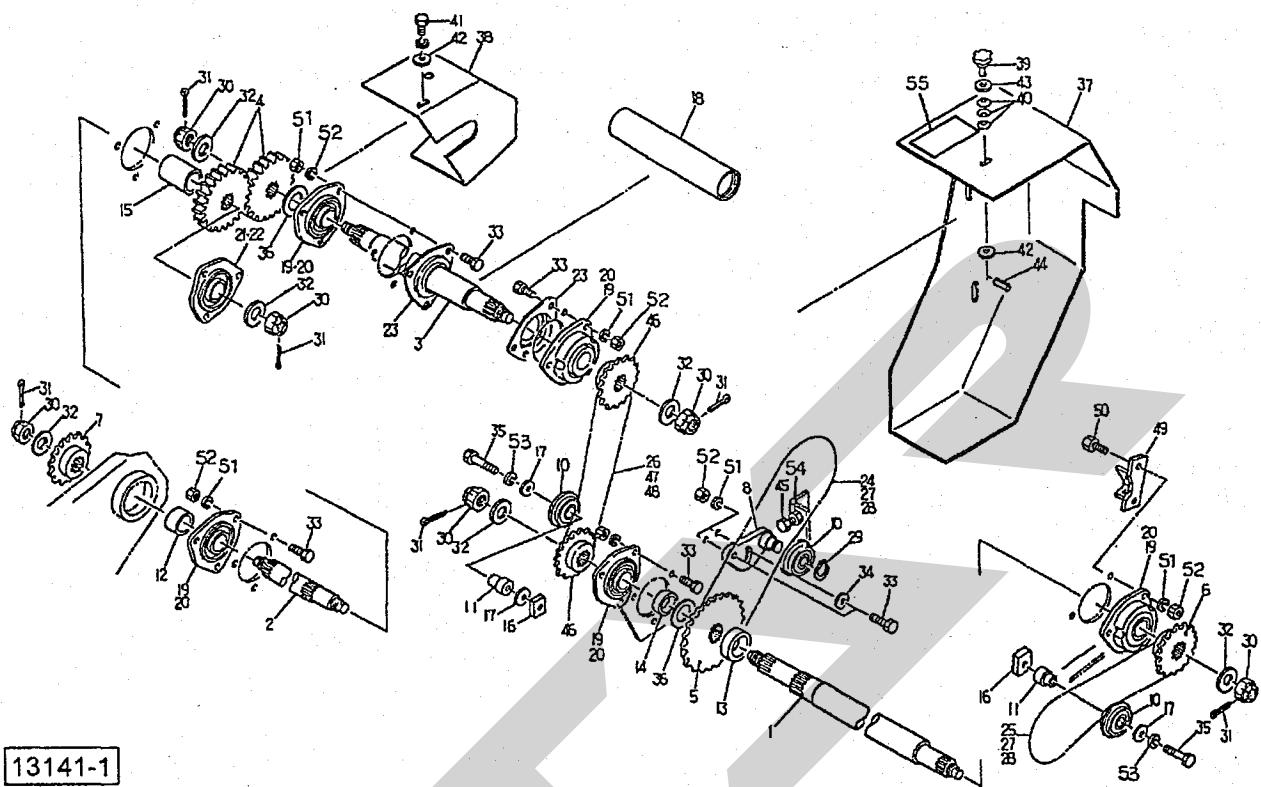
補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。



見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1208870003	アングル	1	
2	0826374004	ピックアップフレームCP	1	
3	0824913004	サイドプレートCP	1	
4	1208810003	アングル1;R	1	
5	1208800003	アングル1;L	1	
6	1208830003	アングル2;R	2	
7	1208820003	アングル2;L	2	
8	1032770003	ホイールCP	2	
9	1208850003	スクレーパ;R	1	
10	1208840003	スクレーパ;L	1	
11	1208880003	ブラケットCP;L	1	
12	1208910003	ブラケットCP;R	1	
13	1208860003	プレート	1	
14	0826490003	ガードCP	1	
15	1210210003	パイプCP	1	
16	0828561003	プレート	1	
18	082858000M	ピンCP	1	
19	121026000M	ピンCP	1	
20	082861000M	ピン	1	
21	1053560003	ゲージホイールステーCP	1	
22	0828630003	プレート	2	
23	044617100M	カラー	1	
24	0446221000	ショックアブソーバ;B	1	
25	0006910000	ニギリ;M12	1	
27	1210170003	ゲージホイールステーCP	1	

APU4000 ピックアップアタッチメント

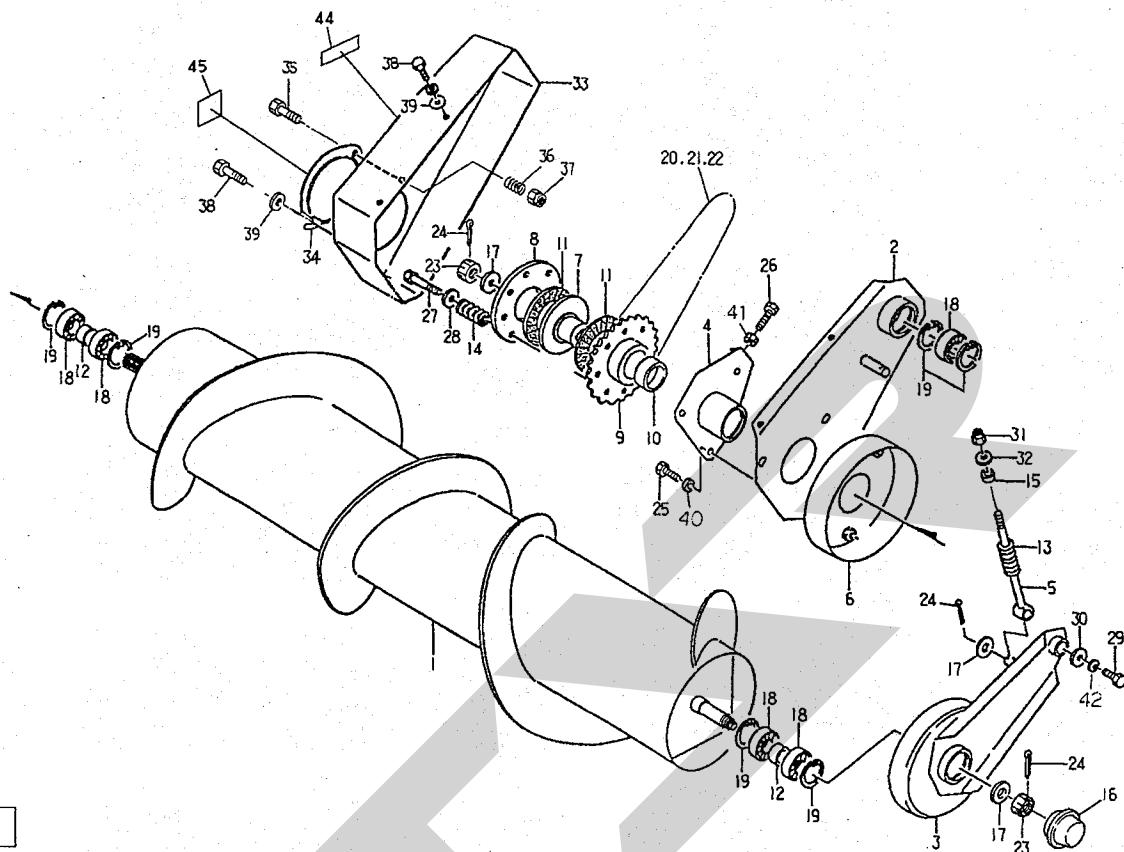
フレーム



見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	0826262002	シャフト; ドライブ	1	
2	0809171002	シャフト	1	
3	0826272002	シャフト	1	
4	0708300003	ギヤ; 22T	2	
5	0826280003	スプロケット; 32T	1	
6	0708320003	スプロケット; 16T	1	
7	0807730003	スプロケット; 18T	1	
8	0619930003	テンションアーム	1	
10	081267000M	テンションローラCP	3	
11	082660000M	カラー	2	
12	070923200M	カラー	1	
13	067842200M	カラー	1	
14	055204100M	カラー	1	
15	082629100M	カラー	1	
16	080925000M	ナット	2	
17	040608401M	ワッシャ; 13×45	3	
18	0828680003	パイプ	1	
19	0007301000	メタル; UC206(ニップルツキ)	5	
20	JUC206D1	ユニットペアリング; UC206D1	5	
21	0007311000	メタル; UC305(ニップルツキ)	1	
22	JUC305D1	ユニットペアリング; UC305D1	1	
23	000473000M	メタルカバー	2	
24	LA50075	ローラチェーン; 50×75L	1	
25	LA60086A	ローラチェーン; 50×86L オフ2ツギテ1	1	
26	LA60070A	ローラチェーン; 60×70L オフ2ツギテ1	1	

APU4000 ピックアップアタッチメント

ドライブ

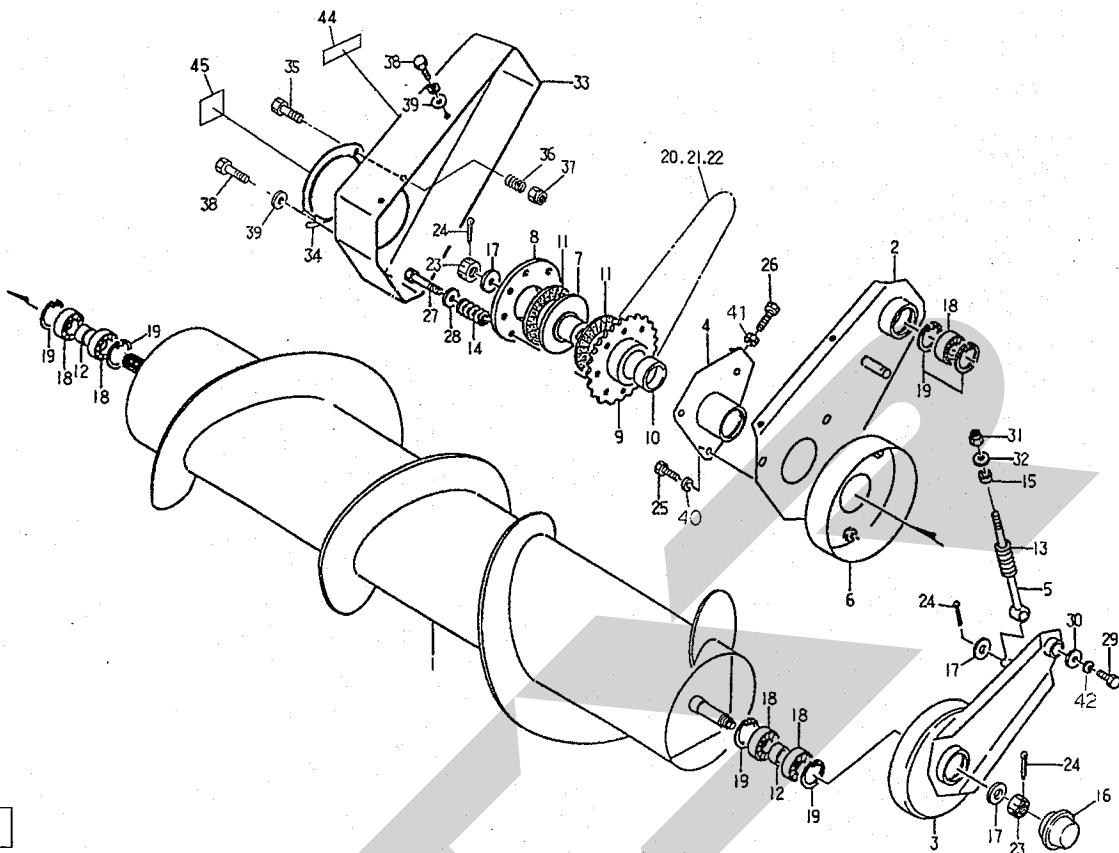


11601-2

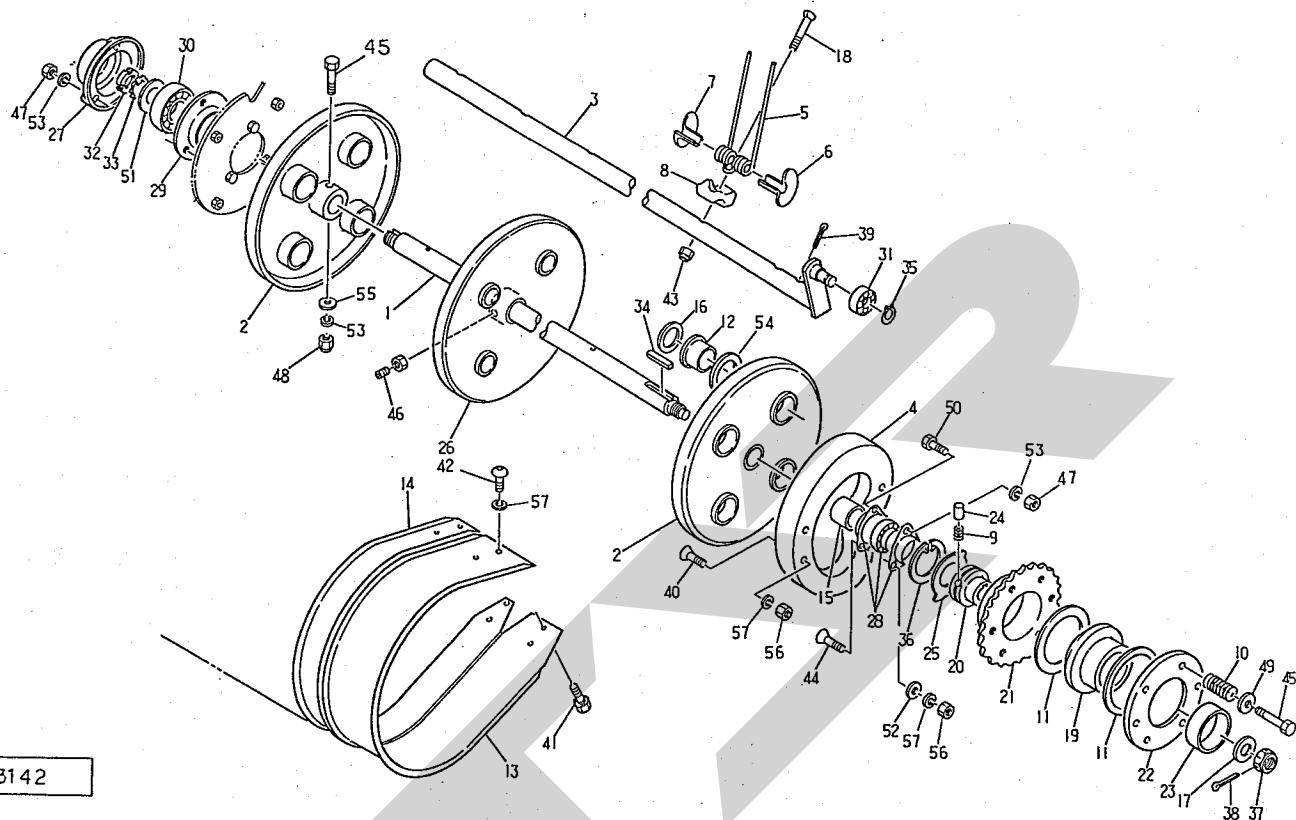
見出し番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	0826302003	オーガCP	1	
2	0729885003	アームCP;R	1	
3	0729914003	アームCP;L	1	
4	0729923003	テンショナCP	1	
5	082483200M	ロッドCP	2	
6	0729931003	フランジCP	1	
7	0709061003	ボス	1	
8	0709070003	プレート	1	
9	0709081003	スプロケット;36T	1	
10	0709092000	ブッシュ	1	
11	0709100000	フェーシングプレート	2	
12	0709220003	カラー	2	
13	0635232003	スプリング	2	
14	0633131003	スプリング	8	
15	0730050000	クッション	2	
16	000415000M	キャップ;62	1	
17	075318000M	ザガネ	4	
18	J6206LLU	ボールベアリング;6206LLU	5	
19	DHC062	Cガタトメワ アナ 62	6	
20	LA50073	ローラチェーン;50×73	1	◎21、22付
21	AA050	ツギテ 50	1	
22	AD050	オフセットリンク 50	1	
23	NC2L20150	キャッスルナット 2シュ ヒク M20×1.5	2	
24	PC032032	ワリピン 3.2×32	4	
25	BSZ10025	コガタボルト 7 M10×25	3	

APU4000 ピックアップアタッチメント

才一九



11601-2



見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	0826330004	シャフト;ピック	1	
2	1032960004	タインプレートCP	2	
3	0826343004	タインバーCP	4	
4	0792823004	カム	1	
5	0710262006	タイン	40	
6	066949200M	タインシュー;1	40	
7	066950100M	タインシュー;2	40	
8	066951100M	ホルダ	40	
9	0632680000	スプリング	2	
10	0432492010	クラッチアジャストスプリング	6	
11	0432480010	フェーシングプレート	2	
12	0640350000	ナイロンブッシュ	12	
13	0825090004	ロータフラッシュ;A	1	
14	0801921004	ロータフラッシュ;B	19	
15	086238000M	カラー	1	
16	065487000M	シム;35×1.2	12	
17	075318000M	ザガネ	1	
18	066952000M	ボルト 8T	40	
19	0460502010	ピックアップクラッチ	1	
20	0460511010	クラッチボス	1	
21	0802042004	スプロケットCP	1	
22	0432462014	クラッチロックプレート	1	
23	0440884000	クラッチロックブッシュ	1	
24	0632672000	ピン	2	
25	0632690003	プレート	1	

APU4000 ピックアップアタッチメント

リール





調整

S-050926C

本 社	066-8555	千歳市上長都 1061番地2 TEL0123-26-1123 FAX0123-26-2412
千歳営業所	066-8555	千歳市上長都 1061番地2 TEL0123-22-5131 FAX0123-26-2035
旭川営業所	070-8004	旭川市神楽4条9丁目3番35号 TEL0166-61-6131 FAX0166-62-8985
豊富営業所	098-4100	天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地 TEL0162-82-1932 FAX0162-82-1696
帯広営業所	080-2462	帯広市西22条北1丁目12番地 TEL0155-37-3080 FAX0155-37-5187
中標津営業所	086-1152	標津郡中標津町北町2丁目16番2 TEL0153-72-2624 FAX0153-73-2540
花巻営業所	025-0312	岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1 TEL0198-26-5741 FAX0198-26-5746
盛岡事務所	020-0173	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字根堀坂552-3 TEL019-694-1661 FAX019-694-1662
仙台営業所	983-0013	宮城県仙台市宮城野区中野字神明179-1 TEL022-388-8673 FAX022-388-8735
小山営業所	323-0158	栃木県小山市梁2512-1 TEL0285-49-1500 FAX0285-49-1560
名古屋営業所	480-0102	愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191 TEL0587-93-6888 FAX0587-93-5416
岡山営業所	700-0973	岡山県岡山市下中野704-103 TEL086-243-1147 FAX086-243-1269
熊本営業所	862-0939	熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号 TEL096-381-7222 FAX096-384-3525
都城営業所	885-0004	宮崎県都城市都北町3537-1 TEL0986-38-1045 FAX0986-38-4644